

第20期第19回常任理事会議事録

日時 昭和55年6月28日(土) 10.00~12.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 浅井, 内田, 河村, 関根, 新田, 松本, 増田, 山下

報告

[庶務]

1. 5月30日, 文部省学術国際局長から, 昭和55年度科学研究補助金「研究成果刊行費」の交付内定について通知がきた(240万円)。また, 昭和54年度科学研究補助金「研究成果刊行費」の確定について通知がきた(217万円)。

2. 5月30日, 日本学術会議会長から, 「科学者憲章について」が送られてきた。

3. 6月9日, 九州支部長から, 第21期日本気象学会九州支部役員等について通知がきた。

4. 6月14日, 気象研究所竹内衛夫氏から, 第12期日本学術会議会員候補者として増田善信氏を推薦の文書がきた。

5. 6月17日, 関西支部長から, 日本気象学会関西支部第14期の役員について通知がきた。

6. 6月18日, 文部省情報図書館課長から, 民法及び民法施行法の一部を改正する法律の施行について通知がきた。

7. 6月27日, 日本学術会議会長から, 「ラッセル・アインシュタイン宣言25周年に際して(声明)」の送付及び周知方依頼があった。

[会計]

4. 5月分についての報告は, 会計基準にもとづく報告で事務当局としてもなかなか面倒であると思うが, 以前のものに比べ分かりやすい。

[天気]

7月号に「ニュース」として「気象研究所の新しい諸設備の紹介」の記事を掲載することにした。

[気象集誌]

6月27日に編集委員会を行った。論文がたくさん集ったので No. 4, 5 をたて続けに出し, 発行月に近いようにしたい。

[講演企画]

春季大会の会場が狭く, 参会者に大変申し訳なかった。プログラムの編集に困ったこと, 同題でその1, 2とある

のは, 今後は1つにして貰うようにしたい。

[教育と普及]

気象学普及書は本文230頁, 定価は3000円以下。現在版組み中で秋には刊行予定。

[長期計画]

データ利用についてのアンケート, 大型設備の利用, 応用気象分野の奨励金等について検討中。

[学術会議]

日本学術会議第78回総会で(1)地震の発生機構及び地震波の伝播機構解明のための高密度強震観測並びに, (2)地震動に及ぼす局地的な地強・地盤条件の影響解明のための高密度強震観測に必要な予算措置等についての勧告が関係各省庁に出された。なお, 科学者憲章についても声明文が出されたが詳細については「天気」に掲載する。

議題

1. 100周年記念事業について

(1) 「天気」の内容についてのアンケートについて次のとおり説明が行われた。会員の中から抽出で, また, 各支部の編集委員には, 全員アンケートに協力して貰う。「天気」に綴じこみのハガキで回答して貰う。「『ひまわり』の画像から」関係の項は, 削除する。

(2) 「気象集誌」の特別号の原稿募集の告示は, Vol. 58, No. 2 から引き続いて最初の頁に入れる。編集委員会のメンバーに若干名を加えて特別号委員会を編成する。

2. 次期役員への引継事項について

(1) 会計 値上げ及び会計年度の件

(2) 「天気」「ひまわり」画像掲載, 統計課長から依頼の理科年表の掲載記事, 総目録その他の件。

(3) 「気象集誌」特別号のための編集委員会の構成, 特別号に寄稿して貰う方の人選。

(4) 講演企画 12月8日, 日本学術会議で気候変動シンポジウムの開催。これは, WCP (World Climate Program) 小委員会で国内計画として行うものである。来年は, 日本学術会議の勧告をもらう。

(5) 教育と普及 「気象学普及書」(仮題)の発行に関し(株)朝倉書店との出版契約証書について、執行者を発行者とすることで了承された。印税の処理法としては、初版の印税は、編集費及び稿料にあてる。再版以後は、学会の収入とする。また、夏季大学教室については、今後も継続する。(関西支部についても継続できるよう助成する。)

(6) 学術会議 WCP (World Climate Program),

CRP(Climate Research Program)の件。

3. その他

- (1) 日本学術会議立候補者の推薦の件
- (2) 新旧理事会を7月18日に開催することを申し合わせる。
- (3) 事務局提案の次期常任理事の担当事務に対するアンケートを新旧理事会までに提出して貰うことを了承。

承認事項 谷 宏 ほか38名の新入会員を承認。

(680頁よりつづく)

- 一風洞実験におけるスペクトル等の乱れの性状の再現性一
- ・小峯裕己(東京大学), 村上周三
49. メッシュデータを用いた地形因子解析法による未観測地点における平均風速の推定に関する研究
 - ・村上周三(東京大学), 小峯裕己
 50. 日本列島における風力エネルギーの地理的分布と季節変化に関する研究—地域気象観測システムの風向風速データーによる風力エネルギーの全国分布図の作成—
 - ・加藤信介(東京大学), 村上周三, 小峯裕己

51. 風速の成因別再現期待値に関する一評価
 - ・宮田利雄(横浜国立大学), 吉津洋一
52. トラス橋桁の耐風性におよぼす床版の影響について
 - ・佐藤弘史(建設省土研), 成田信之
53. 吊橋主塔架設時の耐風制振対策
 - ・松崎 実(本州四国連絡橋公団), 竹内覚夫, 砂原 弘, 辻 松雄, 加納 勇
54. 貯蔵船の風荷重について
 - ・巻幡敏秋(日立造船), 砂田博幸, 与口正敏, 菅原伸一

17:00~17:15 閉会の辞 嶋田 潔(電源開発)